

令和6年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

教育目標	個性の確立 自立と共生 社会への貢献
------	--------------------

山形県立高畠高等学校

めざす学校像	1 基礎・基本を大切に、学力向上に向けて教育活動の充実に努める学校 2 人とかかわりの中で、ことば・心・行動を大切にする生徒を育てる学校 3 総合学科の特色である多様な科目の評価と改善に努め、進化する学校 4 保護者・地域との連携を密にし、地域に貢献できる学校
--------	---

達成度	A: 達成 B: 概ね達成 C: やや不十分 D: 不十分
-----	--

めざす生徒像	地域を愛し、自他の未来を切り拓く生徒
--------	--------------------

自 己 評 価					学校関係者評価 (意見・要望・評価等)	総括 (改善点)
	重点目標 (評価項目)	具体的な取組目標や主な方策	達成度	達成状況(○)と課題(△)		
1	学習指導の充実と学力向上	(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の充実と観点別評価の推進 (2) 科目の目標に即した基礎基本の習得と個に応じた学習支援の徹底 (3) 図書館の積極的活用と探究型学習の深化	B	○学習指導では、生徒の一人一台端末を効果的に活用した授業や学習支援ソフトによる個に応じた指導に対し、一定の成果を得ている。 ○各教科の積極的な図書館の活用により、生徒一人一人の探究心の深化につながった。 △観点別評価を生徒の学習改善、指導力向上につなげる教員の研究がさらに必要である。	・生徒が自身の学習の取り組みに対し、肯定的評価の割合が低い。観点別評価を活用し、生徒が学習に対して、どう目標を設定し、学習活動を実践するか具体的に指導するとともに保護者にも周知して欲しい。	○学習指導 ・観点別評価に関し、教員一人一人が実践に基づく研究を深め、生徒の学習改善や教員の授業改善にあたる。
2	自己実現に向けた明確な進路意識の育成と深化	(1) ガイダンス機能の充実と個に応じた進路情報の提供 (2) キャリア教育実践プログラムを通した社会で自立できる力の育成 (3) 進路実現に向けた全教職員による指導体制の充実	B	○3年次生の進路達成に向け、進路指導課が指導方針をより明確にした結果、全職員が一丸となって小論文、面接指導等に取り組むことができた。 ○インターンシップ体験や進路ガイダンスの計画的な実施が、生徒の心の成長及び変容につながった。 △現教育課程の中で、育成する生徒像に注視した進路指導を充実させる必要がある。	・進路選択を目的とした進路講演会は、内容が充実している。今後も継続してほしい。 ・進路指導室を活用することによって生徒が必要な情報を収集できる環境をさらに充実させてほしい。	○進路指導 ・総合的な探究の時間での課題研究に関する内容を充実させ、生徒の進路実現につながる指導を展開する。
3	健やかな体と思いやりの心、豊かな人間性の育成	(1) 授業や校内外の諸活動を通した「いのちの教育」の推進 (2) 内面理解に重きを置いた生徒指導の充実と組織的対応の強化 (3) 自主的・自律的な生徒会運営と部活動・ボランティア活動等の推進	B	○生徒や保護者の相談には、生徒保健課と各年次が連携し、迅速かつ組織的に課題解決にあたった。 ○生徒会活動では、学園祭等を中心に的確に指導支援することができた。 △「いのちの教育全体計画」に基づき、生徒のコミュニケーションスキル向上に向け、専門職による講話に加え、学校生活から学べる指導が必要である。	・子どもは、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に積極的に取り組んでおり、さらに取り組みを充実させて欲しい。	○生徒指導 ・ボランティア体験や地域活動等、生徒が活躍できる場及び生徒間の親和関係の構築できる環境を模索し、生徒主体で取り組ませる。
4	総合学科としての教育内容の充実と総合力の育成	(1) 地域の教育力を活用した教科横断的な教育の実践 (2) 国際交流事業等の充実と異文化理解教育の推進 (3) 目標に到達するための総合力と課題解決力の育成	B	○高畠ゼミの活動に代表される探究活動や英語、保育・福祉の科目、観光振興等で外部人材を活用した授業が展開され、地域の教育力の活用、国際交流・異文化理解への達成度が上がった。 △国際姉妹校であるオーストラリア・シングルトン高校との対面及びオンラインでの交流をとおし、国際交流事業等をさらに充実させる必要がある。	・高畠ゼミや観光振興等を中心とした各教科での地道な取り組みが、地域に広くPRできたことは成果として大きい。生徒一人一人の意欲や個性を損なうことなく、つなげていくことに努めていただきたい。	○その他 ・保護者と地域社会との連携をより一層深めながら、生徒が安心して学校生活を送れるような環境づくりに邁進する。
5	保護者や地域社会との連携と学校情報の適切な発信	(1) 生徒や保護者による授業評価・学校評価を活用した教育活動の改善 (2) 地域行事等への積極的な参加や協力による地域貢献 (3) 学校HP等各種広報活動の充実と危機管理に関する情報の共有 (4) 安心・安全な教育環境の整備	B	○学校ホームページや公式Instagram等をおし、学校行事の案内や地域行事で活躍する本校生のPRを積極的に展開することができた。 ○高畠町や近隣中学校に協力のもと、学校通信の庁舎及び校舎への掲示や学校行事の回覧板等を活用した地域へのPRによって、本校の良さを昨年度以上に知っていただく機会が増えた。 △本校総合学科の魅力及び特色を地域の中学生、保護者に分かりやすく伝えていくことを目的とする発信方法を多面から再考し、実践する必要がある。	・本校ホームページや公式Instagram等をおし、今後も積極的に情報を発信していくことで、生徒の活躍や総合学科の魅力・内容などを広く伝えてほしい。 ・緊急時の学校との連絡体充実しており、校内設備も安全、安心な環境にある。	